

P084-008

会場：301B

時間：5月27日 10:58-11:11

名古屋大学 STE 研でのミリ波地球大気観測と ALMA による惑星大気科学

Observational study of terrestrial atmosphere with a mm-wave radiometer at Nagoya University and planetary science with ALMA

水野 亮[1]

Akira Mizuno[1]

[1] 名大・理

[1] Astrophysics, Nagoya Univ.

名古屋大学 STE 研ではミリ波スペクトルによる地球大気観測グループを立ち上げ、チリ共和国・アタカマにおける地上大気観測を進めようとしている。0.01 秒の角分解能をもつ ALMA でのサブミリ波スペクトルによる惑星大気観測は、太陽系内の惑星大気についてこれまでにない新たな知見を我々にもたらすと期待される。地球大気の物理化学現象を理解する上でも、ALMA を用いた太陽系内の惑星大気の観測的研究は重要となるに違いない。

これまで欧米の研究者らによりすでにミリ波電波望遠鏡を用いて火星、金星をはじめとする惑星に対して CO や H₂O, HDO などのミリ波大気観測が行われているが、わが国ではまだミリ波スペクトルを用いた惑星観測はそれほど活発には行われていない。講演では過去の観測結果をレビューし、今後 ALMA による惑星大気観測に向けてどのような観測をすすめていくべきかを議論したい。